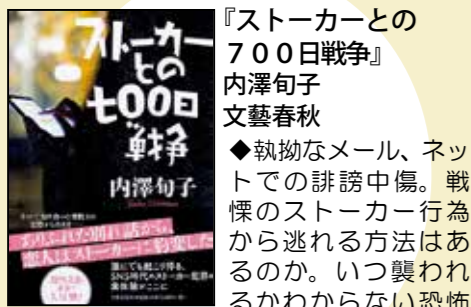


図・書・紹・介

・当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。



『ストーカーとの700日戦争』
内澤旬子
文藝春秋

◆執拗なメール、ネットでの誹謗中傷。戦慄のストーカー行為から逃れる方法はあるのか。いつ襲われるかわからない恐怖のなか、警察や弁護士、様々な人との緊迫したやりとりを丁寧に描写。体験した本人ならではのノンフィクション。



『定年夫婦のトリセツ』
黒川伊保子
講談社+α新書

◆結婚70年時代のいま、定年後の夫婦を楽しむためのバイブル。男女脳の違い、思考の違いをお互いに理解し思いやることで無駄な衝突を避けられる。「夫の禁則5箇条」「妻の禁則5箇条」など楽しく読みやすい構成。



『レンタルなんもしない人のなんもしなかった話』
晶文社

◆行列に並び、ただ話を聞く、一人カラオケに付き合う、行けなかった舞台を代わりに見る、レンタルなんもしない人の日常。「なんもしない」というサービスが生み出す「なにか」とは。

【貸出しのお約束】・1人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時

※時間外の返却はセンター入口横のポストをご利用ください。

令和元年ぐんま男女共同参画センター講座・セミナー等のご案内

講座名	内容	開催時期	定員	会場
とらいあんぐるんセミナー②③	演題：「完全群馬目線で「高校日本史」教科書を書いてみたらこうなりました(中世編)」(全2回) 講師：築瀬大輔さん(県立女子大学群馬学センター准教授)	第1回9月26日(木) 第2回10月3日(木) 受付終了	50人	ぐんま男女共同参画センター
とらいあんぐるん防災セミナー	演題：「災害に強い地域づくり～多様性配慮の視点で地域防災力をアップする～」 講師：坂田静香さん(NPO法人男女共同参画おおた理事長) ※沼田市と共催	10月6日(日) 申込受付中	50人	沼田市・テラス沼田
女性のためのハッピーキャリアセミナー	演題：「人間関係がラクになるさわやかな気持ちの伝え方～アサーション・トレーニング～」 講師：宇部弘子さん(日本体育大学准教授) ※保育あり(要申込) ※安中市と共催	10月17日(木) 申込受付は9/17から	女性30人	安中市文化センター
男性のワーク・ライフ・バランスセミナー	演題：「男の料理 超簡単 おつきりこみを作ろう～料理をする男は美しい～仕事も家事も～」 講師：木部克彦さん(ジャーナリスト・明和学園短期大学客員教授) ※高崎市と共催	10月19日(土) 申込受付は9/19から	男性20人	高崎市市民活動センター・ソシアス

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信

2019年9月

No. 55



ぐんま男女共同参画センター
〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12
TEL: 027-224-2211
FAX: 027-224-2214
メール: sankakuse@pref.gunma.lg.jp

～男女共同参画社会の実現を目指し活躍する人たち～

インタビューコーナー 第27回

ジャーナリスト
明和学園短大客員教授
あさを社編集主幹

木部 克彦さんに聞く



～料理をする男は美しい!(^)! 仕事も家事も～

●兼業主夫になったきっかけは

料理をすることが好きだったからです。なぜ、料理を始めたかについて、今思えば、幼少期に抱いた違和感が原点です。実家は農業を営んでおり、何か行事や集まりがあると、母親達、女性が台所にこもりっきりで、男性は何もしない、自分たちだけが食事をしていました。そんな光景を見て、なぜ、一緒に食事をしないのだろうか、だれも女性達と一緒に食べようと声を掛けないのだろうか疑問を持っていました。だからこそ、自分が家庭を持ったら、一緒に料理を作り、食卓を囲みたいと強く思っていました。

また、大学入学と同時に家を離れ、自炊を始めたら、これが本当におもしろかったわけです。本気で、料理人になりたいと思ったほど。

結婚してからは、フルタイムで働く妻が、自分より帰宅が遅く、少し早く帰宅する自分が料理をすることになりました。そうすると、料理以外の掃除など家事の分担についても時間に余裕のある方がすることになりました。その方が、効率の面でもいいですからね。もちろん、自分の家のキッチン、作

る人が孤立しない構造にしましたよ。作りながら、みんなと話が盛り上がる、これは最高です。

●周囲の反応は

僕が料理をドーンと出したりすると、初めて来た方は驚きますね、特に男性は。女性は賞賛してくれます。妻の名誉のため言いますが、得意な人が得意なことをやっているだけです。仕事と同じことで、適材適所。男性が料理や家事をすることについて、僕の母親世代は言いたいこともあるかと思いますが、実家の母はとにかく息子夫婦のことは一切、口出ししないので、特になにか言われたことはありません。

●家事や料理の魅力は

料理は、頭脳労働と言う脳外科医もいます。料理の工程を思い浮かべてください。「何を作ろうか」、「冷蔵庫に何が残っていたかな」、「足りないものを素早く買い物に行くには」、「効率よく料理をつくる」、「料理をつくる間に洗いを」、「料理を盛り付ける皿を考える」など「着想」と「想像」の連続、とにかく想像力を豊かにします。老化やボケ防止にもなります。

他にも掃除をして家がキレイになるのは気持ちがいいものです。リビングの大甕に花を活けること、四季折々の料理を出したときに、「おお～」なんて歓声が上がるとうれしい。家事は、本当に小さな感動の積み重なり、そう人生は、小さな感動で出来ていることに気づかされる、これが魅力ですね。

●最後に、参画したい男性にエールを
家事や家庭料理に失敗はありません。味が薄かったら、食べながらちょっと足せばいいし、失敗も食卓を盛り上げるいいネタとなります。プロの料理人ならそうはいかないけど、家庭料理ですからね。自信を持ってやってみてください。女性側も温かく見守ってほしい。まずは、ほめてほめてほめてあげてください。キッチン面白みと感動、そして想像力を豊かにする場、どんどん男性もやってほしい、やらないのはもったいないです。

木部さんから、男性も失敗を恐れず、家事や料理にチャレンジ! 力強いエールをいただきました。料理にチャレンジしたくなった男性は、10月19日(土)に高崎市市民活動センター・ソシアス調理室にて、木部さんを講師に「男の料理! 超簡単おつきりこみを作ろう～料理をする男は美しい～仕事も家事も～」を開催します。ぜひ、参加をお待ちしております。

●木部克彦さんプロフィール●

ジャーナリスト・明和学園短大客員教授・あさを社編集主幹
毎日新聞記者を経て文筆業・出版業。食文化・料理・地域活性化・葬送・社会福祉などで執筆。群馬県文化審議会委員。著書に『群馬の逆襲』『今夜も「おつきりこみ」』『家庭料理が幸せを呼ぶ瞬間』『認知症、今日も元気だい』など多数。



とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センターのご案内



●研修室の貸出しを行っています。

詳しくはホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。



●大研修室 ●中研修室

●お車でお越しの際は、県内「県民駐車場」をご利用ください。(2時間まで無料)

●休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)
12月29日～1月3日

〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12

電話 027-224-2211 FAX 027-224-2214

メール sankakuse@pref.gunma.lg.jp

ぐんま男女共同参画センター 検索



センターHP QRコード